

AUTOPOLIS
INTERNATIONAL RACING COURSE

TEXT BOOK

はじめに

オートポリス コースライセンス会員にご登録いただきありがとうございます。

私共は、サーキットを通じてモータースポーツのすばらしさ・楽しさを広く皆様に普及してまいりたいと考えております。

当サーキットで「技術」と「心」を鍛錬し、レース・競技では鍛えた腕を冷静沈着に発揮し、一般公道にあっては、ほかのドライバーの模範となるような運転をお願いいたします。

又、当施設内においてはルール・マナーを守っていただき、ご来場されるすべての皆様が「マイサーキット」として気持ちよく利用していただけるような運営を目指しておりますので、何卒ご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。

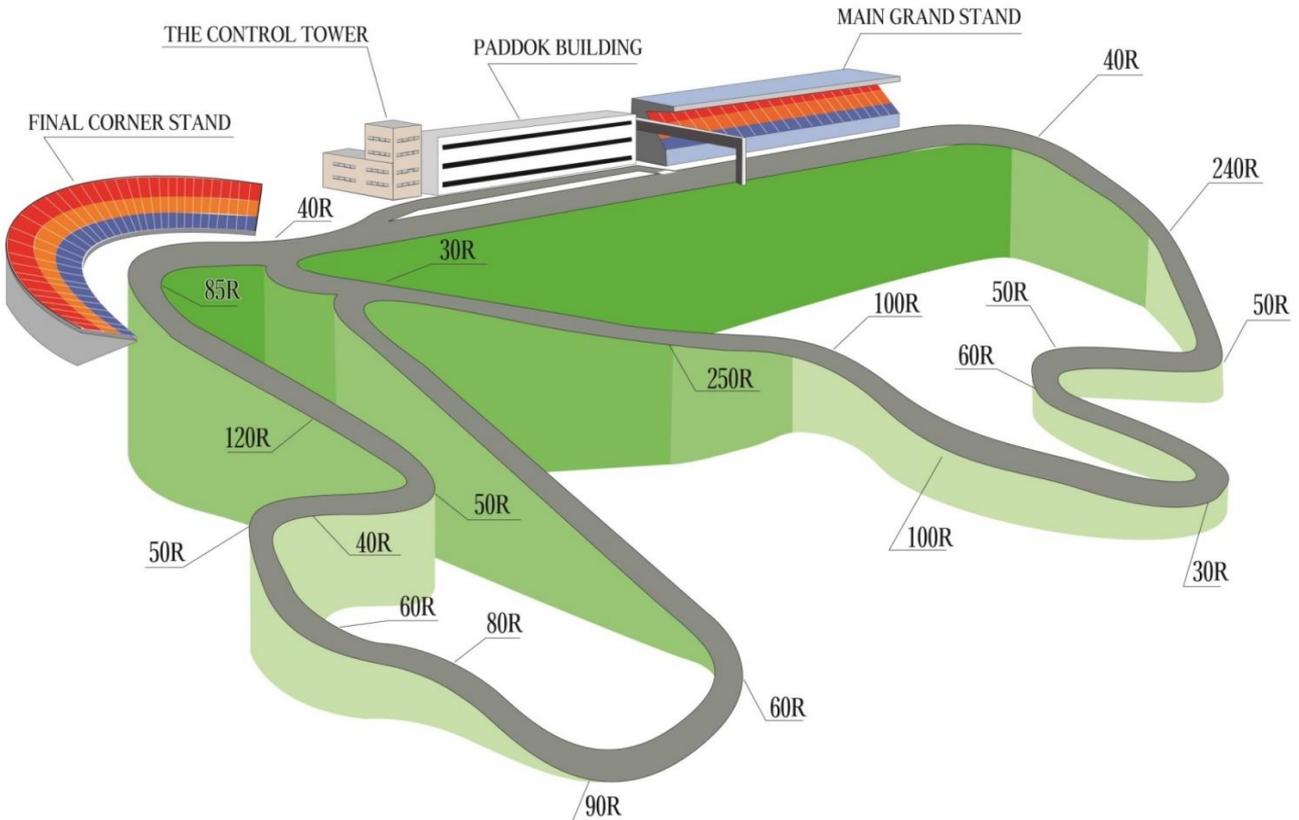
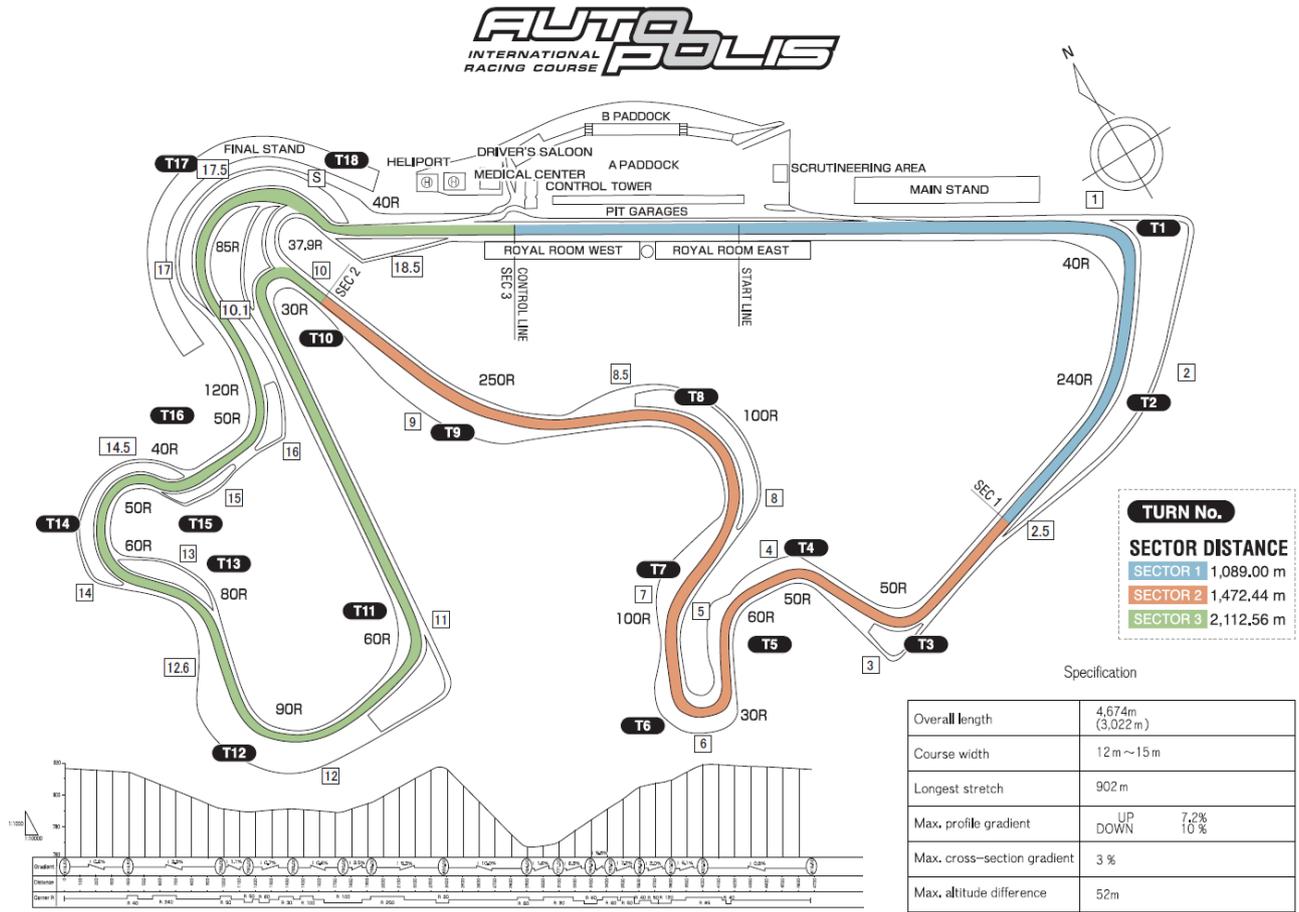


目次

オートポリス国際レーシングコース	…	3
オートポリス サーキットライセンス	…	4
マイページ登録方法 / クレジットカード自動引き落とし設定	…	6
保険	…	10
スポーツ走行の車両規定	…	11
スポーツ走行の安全装備規定	…	15
スポーツ走行の走行手順	…	18
スポーツ走行の諸規則	…	19
フラッグ規定/デジタルフラッグ（ライトパネル）/ポスト配置	…	24
GPS発信機の搭載義務化	…	25
施設/設備の破損・消失・消耗について	…	29
ピット/Aパドックの使用について	…	31
オートポリス 場内MAP	…	32
オートポリスにお越しになる前に	…	32

オートポリス インターナショナルレーシングコース

●イメージのため、形状・寸法など実際とはことなる場合があります。



オートポリス サーキットライセンス

■ 「オートポリス サーキットライセンス」とは、オートポリス国際レーシングコースおよびSPA直入コースにてスポーツ走行を行う際に必要となるライセンスです。このライセンスは所定の入会手続きを行い、入会講習を受講されたうえで「走行マナー」「サーキット規則」「サーキットの形状」など、スポーツ走行を行う上で重要なルールやマナー、注意事項などの講習を受け、内容を十分に理解された方のみ発行しております。

1. ライセンスカードの発行

ライセンス講習受講後、コントロールタワー 1 階の受付にてライセンスカードを発行いたします。

2. ライセンスの有効期限

ライセンスの有効期限は、入会日から翌年の 3 月 3 1 日までとなります。

以降、更新された場合は毎年 4 月 1 日から翌年の 3 月 3 1 日が有効期限となります。

3. ライセンスの更新

ライセンスは自動継続更新（口座振替/登録クレジットカード引落）となります。

更新料のお支払いは口座振替の方は 2 月 2 7 日、クレジットカードを登録された方は 3 月中に引落しをさせていただきます。

※ 更新を希望しない場合は 1 月末までにオートポリス コースまでご連絡ください。

ご入金を確認後、翌年度のライセンスを郵送いたします。毎年 3 月中旬から下旬頃に発送予定となります。

※ 「会員マイページ」にご登録いただいているご住所に送付いたしますので、住所が変更になった場合は「会員マイページ」の登録内容をご自身で変更してください。

「会員マイページ」はオートポリス ホームページの右上（パソコンの場合）か、右上のメニューボタンの中（スマートフォンやタブレットの場合）にあります。

	18歳以上	学割
更新料金	27,500円（税込）	16,500円（税込）

※学割対象者は4月1日時点で18歳未満の方、または大学、短期大学、高等専門学校に在籍している方となります。専修学校、各種学校でも対象となる場合がありますので、ご不明な場合はお問い合わせください。

4. 会員特典

入場料（通常700円）無料 （通常営業日、ご本人様と同乗者1名様）	入場ゲートで必ず停止し会員カードをご提示ください。 （紛失・不携帯時には有料となります。）
ゴールドカップレース、POLISPAロードレース、ONE&TWOフェスティバル 入場無料 （ご本人様のみ）	入場ゲートで必ず停止し会員カードをご提示ください。 （紛失・不携帯時には有料となります。）
オートポリスで開催される全てのビッグレース、観戦料、花火大会の入場料無料 （ご本人様のみ）	※顔写真が印刷されたライセンスカードに限りです。 ※駐車券やオプション券は別途お買い求めください。
「前売り2日間通し観戦券2枚」40%割引 （ビッグイベント時のみ / お一人様2枚まで）	※オートポリスホームページからマイページにお進みください。 オートポリスが指定するビッグイベントのみに限ります。
コースサイドロッジ宿泊料割引	コースサイドロッジの詳細はホームページをご確認ください。 ※定休日を除く
パドックルームを特別料金で利用可能	通常営業日 3,300円、ゴールドカップレース/POLISPAロードレース開催時は6,600円でご利用いただけます。
スポーツ走行予約後の走行回数に応じたポイントが付与	予約後の走行回数（10回 / 20回）に応じてポイントが付与され、ポイントは無料走行券と引き換えることが可能になります。
無料走行券プレゼント	3月下旬に翌年度のライセンスと共に郵送いたします。 ※走行券は更新年度の3月31日まで有効。

5. 再発行

ライセンスカードの再発行には手数料2,200円（税込）が必要となりますので、紛失されないようご注意ください。

6. 注意事項

オートポリスにてスポーツ走行を行う場合や会員としての特典を受ける場合は、必ず有効なサーキットライセンスをご提示ください。

- ※ サーキットライセンスは氏名が記載されている**ご本人様のみ有効**となります。他人に貸したり譲渡したりすることは出来ません。
- ※ ライセンスカードのご提示がない場合、スポーツ走行への参加や会員としての特典などを受けることができません。お忘れのないようご注意ください。

7. SPA直入コース

ライセンス所持者は大分県竹田市に所在する姉妹サーキット「SPA直入コース」を走行することができます。

- ※ SPA直入コースは2輪専用コースです。
 - ※ 走行の前に必ずSPA直入コースで講習会（無料・予約制）を受講してください。
 - ※ 講習時間につきましてはSPA直入コースにご確認ください。
- SPA直入 電話番号：0974-75-3191

8. 3サーキットライセンス共通事項

スポーツランドSUGO・岡山国際サーキット・オートポリスがモータースポーツの振興を目的とし、スポーツ走行ライセンスを共通化いたしました。いずれかのライセンスを取得することで3サーキットでのスポーツ走行が可能となります。

- ※ **走行条件など、各サーキットに事前にお問い合わせください。入場料・初回簡易講習・ゲストフィー（1,100円）が必要となります。**

9. ライセンス資格の喪失

- ① 本人から退会の申し込みがあったとき、またはライセンス更新手続きが行われなかったとき。
- ② オートポリス サーキットライセンス諸規則や運営方針、またはスタッフの指示に従われなかったとき。
- ③ オートポリス サーキットライセンスの名誉を汚したり、信用を失う行為があったとき。

上記理由により、コースライセンスを退会もしくは除名された時点でライセンス会員としての一切の権利を失い、サーキットライセンスを返上していただくこととなります。

サーキットライセンスの返上後1年間は新たにコースライセンスを取得することは出来ませんのでご了承ください。なお、その場合ライセンスの有効期限が残存している場合でもいかなる返金もいたしかねます。

マイページカード登録方法 / クレジットカード自動引落し設定

1. モタスポID設定

- モタスポ.netのシステムをご利用中の施設(主催者)のマイページへのログインが一括で簡単に行える共通のID(モタスポID)の設定が行えます。
- モタスポID設定後、「年会費のクレジットカード自動引落し設定」を行ってください。

モタスポ.net 各施設・主催者のマイページ (ログイン) URL <https://www.ms-event.net/mypage/>



設定手順

- ① マイページにログインし「モタスポID設定」ボタンを押します。

- ② ログインに利用するモタスポID、パスワードを設定し「登録」ボタンを押すことでモタスポIDが作成され、ログイン中のマイページがモタスポIDと統合(関連付け)されます。
この際、他のマイページで既にモタスポIDを登録済みの場合は「モタスポIDログイン」ボタンを押すことでログイン中のマイページとモタスポIDが統合(関連付け)されます。

③ ログイン可能なマイページの候補が表示されます。

(登録された個人情報から自動的に表示され、複数施設(主催者)に登録されている場合は複数表示されます。) 表示されている施設(主催者)のマイページにログインする際に用いるログインIDとパスワードを入力し「統合」ボタンを押すことで②で登録したモタスポIDを用いて各施設(主催者)のマイページに簡単にログインすることが可能になります。

ログイン可能なマイページ一覧

【デモ環境】でマイページログイン時にご利用のログインIDとパスワードを入力して「統合」ボタンを押してください。

ログインID

パスワード

統合

④ ログイン可能なマイページが複数ある場合に各マイページのログインIDとパスワードを入力後に「まとめて統合」ボタンを押すことで、一括で統合処理を実行します。

まとめて統合

(ログインIDとパスワードを入力したマイページを全て統合します)

以上でモタスポIDの登録、統合は完了となります

2. 年会費のクレジットカード自動引き落とし設定

- クレジットカード情報を登録することでライセンスの有効期限更新期間になると自動で決済・有効期限の更新が可能です。(要モタスポID登録)

① マイページトップより「年会費のクレジットカード自動引き落とし設定」ボタンを押します。

※ 「年会費のクレジットカード自動引き落とし設定」をする為には事前に「モタスポID設定」が必要です。

日本 太郎様

ログアウト

選択したマイページに移動する

モタスポID設定

- ・モタスポ.netのシステムをご利用中の施設(主催者)のマイページへのログインが一括で簡単に行える共通のID(モタスポID)の設定が行えます。
- ・モタスポIDを設定することで便利な年会費のクレジットカード自動引き落とし機能もご利用いただけます。

年会費のクレジットカード自動引き落とし設定

- ・このボタンは自動引落しに対応している施設(主催者)のマイページにのみ表示されます。

- ② 「クレジットカード追加」を押すことで③クレジットカード情報入力欄が追加されます。(最大5枚まで登録可能)
 - ③ クレジットカード情報を入力し「カード情報登録」を押すことでカード情報を登録します。
(最後に登録したカードを通常利用するカードとして設定します。)
- また、クレジットカード情報はモタスポIDに紐付けされており、各施設(主催者)で同クレジットカード情報がご利用可能です。

ご登録のクレジットカード

クレジットカード一覧

クレジットカード名義人
SAMPLE TARO

カード番号(半角数字)
9999999999999999

有効期限
12月30年

セキュリティコード
999

カード情報登録

③

②

クレジットカード追加

- ④ クレジットカードを登録するとこのように表示されます。「お支払いに利用するカードです」と表示されているクレジットカードで決済を行います。
- ⑤ 複数のクレジットカード情報を登録している場合表示される「お支払いに利用するカードに設定する」ボタンを押すことで決済に利用するカードを変更可能です。
- ⑥ クレジットカードが新しくなり有効期限が変わる場合はこちらから変更します。
(手動での更新が必要で期限が切れている場合はライセンスの更新は行われません。)

ご登録のクレジットカード

クレジットカード一覧

お支払いに利用するカードです

末尾：111 カード名義人：SAMPLE TARO 有効期限：12月30年 保存 削除

お支払いに利用するカードに設定する

末尾：111 カード名義人：SAMPLE TARO 有効期限：11月30年 保存 削除

クレジットカード追加

⑦ クレジットカード情報を登録することで「ライセンス自動更新設定」が表示されます。

自動カード決済「する」と選択することで有効期限の更新期間になると自動的にクレジットカード決済、ライセンスの有効期限更新が実行されます。

※ こちらの項目は各施設(主催者)毎のマイページより行う必要があります。また、施設(主催者)によって自動更新ができない場合があります。

※ クレジットカードの有効期限が切れており自動更新に失敗した場合、自動的に自動カード決済「しない」設定に戻ります。

※ 自動クレジットカード決済で更新する場合はライセンス区分の変更はできません。区分を変更したい場合は自動カード決済「しない」を事前に選択してください。

DEMO ライセンス自動更新設定	
DEMO年会費を	
自動カード決済 :	<input type="checkbox"/> しない <input checked="" type="checkbox"/> する

⑦

「する」を選択

保険

1. スポーツ安全保険

傷害内容	傷害保険金額		
	中学生以下	大人	65歳以上
死亡	2,000万円	2,000万円	600万円
後遺障害	3,000万円	3,000万円	900万円
入院	4,000円	4,000円	1,800円
通院	1,500円	1,500円	1,000円

※ 保険料はライセンス料に含まれています。

※ 死亡・後遺障害、または負傷による入院・通院をされた場合、規定に沿って保険料が給付されます。
詳しくは公益財団法人スポーツ安全協会 Web をご覧ください。

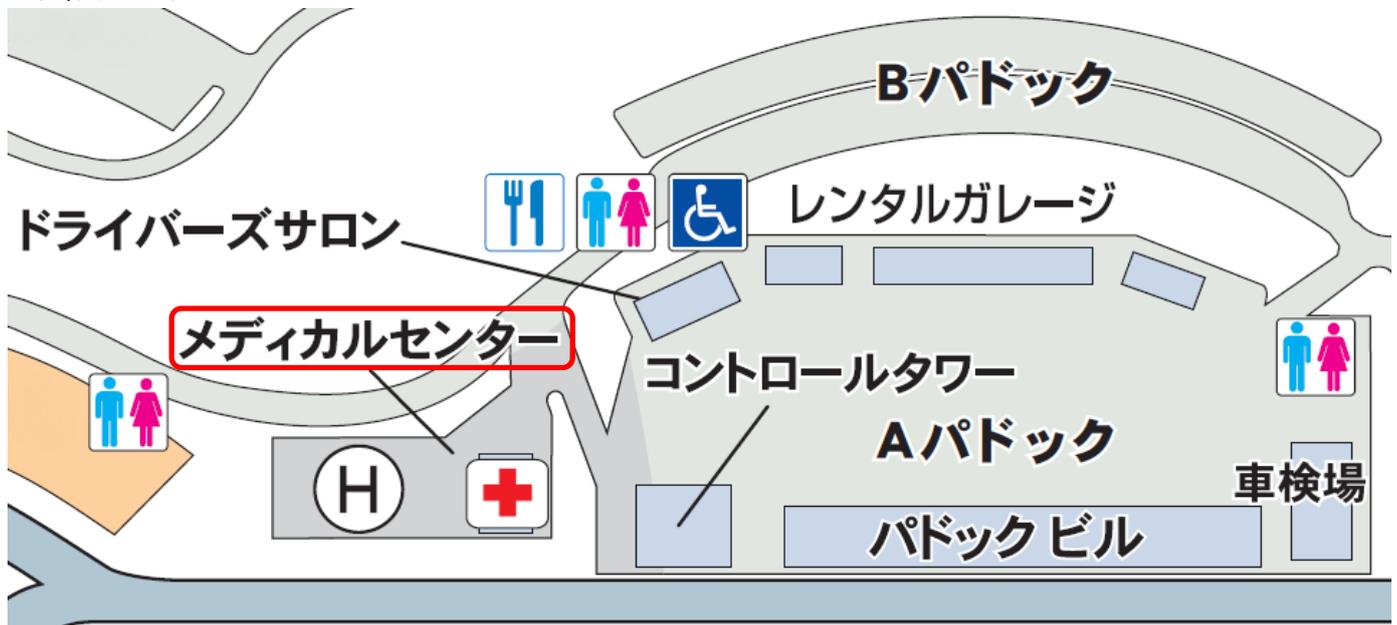
URL : <http://www.sportsanzen.org/>

※ オートポリス以外が主催するイベントにつきましては対象外となります。

※ 急性心不全、脳内出血などの突然死の場合は保険金が支払われません。

※ 転倒・事故により負傷した場合、必ずオートポリス メディカルセンターにて当日中に診察を受け、記録を残してください。
この記録がない場合、保険の適用を受けることができません。

3. メディカルセンター



転倒・事故により負傷した場合、負傷の度合いによって応需病院に搬送する場合がございます。

スポーツ走行の車両規定

1. 2輪

- ① 市販状態で**排気量 1 2 5 cc以下**の車両は走行することができません。
※ 当該年の「POLISPAロードレース選手権シリーズ」で開催されるクラスに該当する車両は走行することができます。
- ② フレームタイプがスクーターやアンダーボーンタイプの車両は走行することができません。
- ③ アメリカンタイプなどサーキット走行に不向きと判断した場合は、走行をお断りさせていただくことがあります。
ご自身の車両で走行できるか不安な場合はオートポリス コースまでお問合せください。

走行区分

2輪スポーツ走行は**市販状態の排気量**とレーシングコース1周の**ラップタイム**によりクラス分けを行っております。
区分内容に適した走行クラスでご走行ください。

走行クラス	区分内容
2 B-A	排気量が401cc以上 でラップタイムが 2分10秒より速いペース で走行するクラス
2 B-B	排気量が401cc以上 でラップタイムが 2分10秒より遅いペース で走行するクラス
2 B	2 B-Aクラスと2 B-Bクラスの混走クラス
2 S	排気量が400cc以下 の車両が走行するクラス
2 ALL	2 Bクラスと2 Sクラスの混走クラス

- ※ ドライ路面でのラップタイムが基準となります。
- ※ 基準のラップタイムはベストタイムではなく平均的に記録できるラップタイム（アベレージタイム）となります。
- ※ ラップタイム（アベレージタイム）は自己申告となります。

取り外さなければならない部品

- ① センタースタンド
転倒時に危険な突起物となる為、**必ず取り外し**してください。

取外しを推奨する部品

- ① ナンバープレート
走行中や転倒時に脱落すると二次事故を起こす危険がありますので**取外しを強く推奨**いたします。
- ② サイドスタンド
転倒時に危険な突起物となる為、**取外しを強く推奨**いたします。
取り外すことが困難な場合はサイドスタンドが起きないようにビニールテープなどで固定することを強く推奨いたします。
※ コーナリング中に路面と接触するとスタッフが判断した場合は、**取り外していただきます。**
- ③ ライト / ウィンカー / ブレーキランプ / テールランプ / バックミラー / リフレクター / ナンバープレート照明灯
走行中の脱落や転倒時コースに飛散したりすると二次事故を起こす危険がありますので**取外しを推奨**いたします。
取り外すことが困難な場合、ガラス製レンズには脱落・飛散防止のため点灯が確認できる程度にビニールテープなどで固定してください。
- ④ タンデムステップ
走行中の脱落や転倒時に危険な突起物となるため、**取外しを推奨**いたします。
取り外すことが困難な場合はビニールテープなどで固定することを推奨いたします。

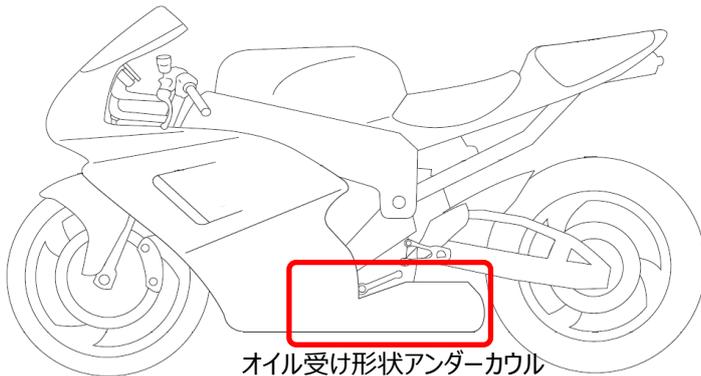
取付けを推奨する部品

- ① ワイヤロック
走行中に緩んではならない箇所にはワイヤロックの**取付けを強く推奨**いたします。
例) ドレンボルト / オイルフィルターキャップ / オイルフィルター / 水冷オイルクーラーボルト / ブレーキキャリパーのボルト
※ ワイヤロックのかけ方については行きつけのショップなどのスタッフにご相談ください。
- ② クローズドブリーザーシステム / オイルキャッチタンク
エアクリーナーボックスの交換・加工・取外しをしている車両はオイルキャッチタンクの**装着を推奨**いたします。

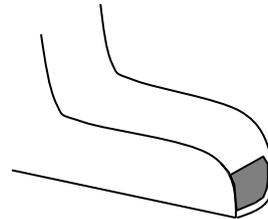
③ アンダーカウル

走行中の車両トラブルによる路面へのオイル漏れを最小限にとどめるため、オイル受け形状のアンダーカウルの装着を強く推奨いたします。

※ 使用されるエンジンオイル及びエンジンクーラント総量の最低半分を保持する構造のアンダーカウルが望ましい。



オイル受け形状アンダーカウル 拡大



④ プロテクティブコーン / スライダー

転倒時にコースに傷が付くのを防ぐ、およびカウルなど車両の破損を防ぐためにプロテクティブコーン及びスライダーの装着を推奨いたします。

プロテクティブコーンの先端は丸みを持たせ、フェアリングの表面から必要以上に突き出してはなりません。

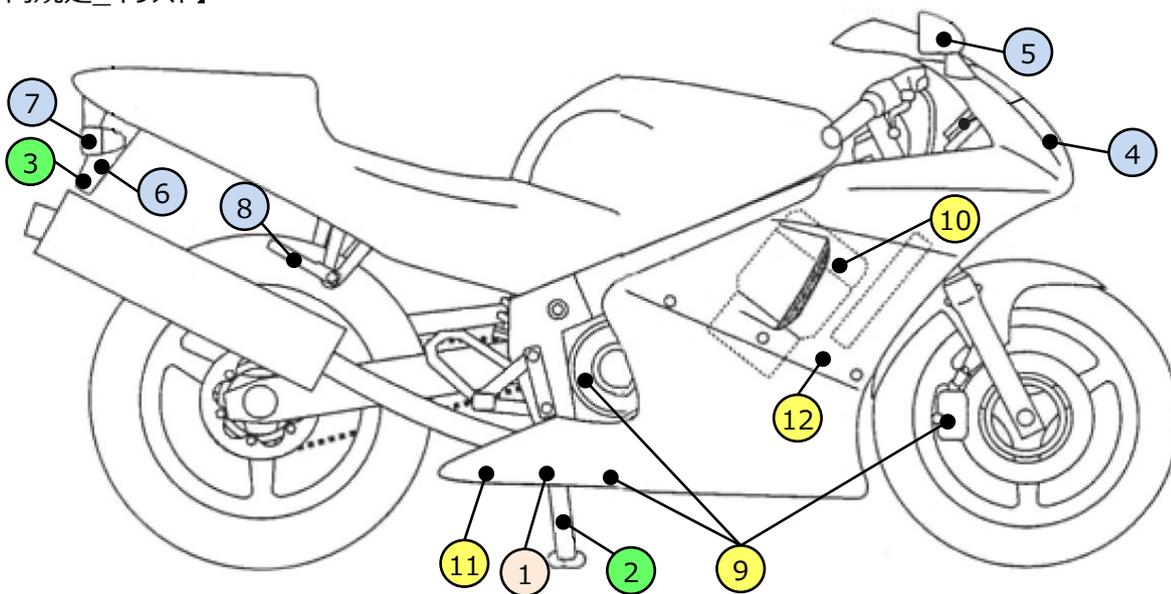
タイヤ

極度に摩耗したタイヤでは走行することができません。また、雨量によってはスリックタイヤでの走行をお断りする場合があります。

排気音量

近隣への環境を考慮し、排気音量は105 dB/Aまでとして下さい。

【車両規定_イラスト】



取外さなければならぬ

- ① センタースタンド

取外しを強く推奨

- ② サイドスタンド
③ ナンバープレート

取外しを推奨

- ④ ライト
⑤ バックミラー
⑥ ブレーキランプ
テールランプ
リフレクター
ナンバープレート照明灯
⑦ ウィンカー
⑧ タンデムステップ

取付けを推奨

- ⑨ ワイヤロック
⑩ クローズドブリーザーシステム
オイルキャッチタンク
⑪ オイル受け形状アンダーカウル
⑫ プロテクティブコーン
スライダー

2. 4輪

走行区分

4輪スポーツ走行は走行する車両や参加者のサーキット走行経験によりクラス分けを行っております。
区分内容に適した走行クラスでご走行ください。

走行クラス	区分内容
4F	フォーミュラカーで走行するクラス
4TN-A	ツーリングカー及びナンバー付き登録車両で、ラップタイム 2分30秒より早いペース で走行するクラス
4TN-B	ツーリングカー及びナンバー付き登録車両で、ラップタイム 2分30秒より遅いペース で走行するクラス
4TN	ツーリングカー及びナンバー付き登録車両で走行するクラス（4TN-Aと4TN-Bの混走クラス）
4ALL	4Fクラスと4TNクラスの混走クラス
KSP	カートで走行するクラス

※ ドライ路面でのラップタイムが基準となります。

※ 基準のラップタイムはベストタイムではなく平均的に記録できるラップタイム（アベレージタイム）となります。

※ ラップタイム（アベレージタイム）は自己申告となります。

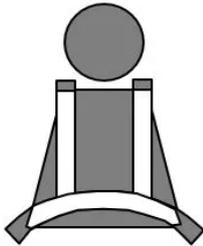
4F

レースを目的として製作された車両（F3 / F4 / S-FJ など各種フォーミュラカー）

※VITA / CS2 は4F（フォーミュラクラス）での走行となります。

ツーリングカー

- ① 市販車をベースにサーキット用に改造された**ナンバープレートのない車両**（ツーリングカー）。
- ② シートベルト
 - ・ **4点式以上のフルハーネスタイプ**で、ワンタッチかつ簡単な操作で離脱できるものを装着してください。
 - ・ 車体への取り付けは各シートベルトメーカーの指示に従い確実に取り付けてください。



- ③ 排気音量
近隣への環境を考慮し、排気音量は120dB/Aまでとしてください。

ナンバー付き登録車両

- ① 陸運局の車両検査に合格し一般公道が走行できる**ナンバープレートの付いた車両**（登録車）。
- ② シートベルト
3点式シートベルトを装着してください。



※ 安全性向上のため、4点式以上のシートベルトの**装着を推奨**いたします。

- ③ 排気音量
車両検査に合格できる音量までとしてください。

4 TN 共通

- ① トラック・オフロード車・車高の高いワゴン車など、サーキット走行に不向きと判断した場合は走行をお断りさせていただきます。
ご自身の車両で走行できるか不安な場合はオートポリス コースまでお問合せください。
- ② ヘッドライト / その他の灯火類
クラッシュや接触を起こしたときコースへの落下・飛散を防止するためにガラス製レンズの場合は車体に掛かるよう必ず点灯が確認できる程度にテーピングを施してください。
- ③ ミラー類
後方確認をするためのパーツは**絶対に取り外さない**てください。
また小さいエアロミラーを取り付ける場合、最低限度後方を確認ができる大きさにとどめてください。
- ④ オイルキャッチタンク
走行中の車両トラブルによる路面へのオイル漏れを最小限にとどめるため、オイルキャッチタンクの**装着を強く推奨**いたします。
取付けの際は、液体漏れによる路面状況の悪化につながる恐れがあるため大気開放は禁止となります。
- ⑤ ロールバー / ロールケージ
 - ・クラッシュ時の安全性を高めるためロールバー / ロールケージの**取り付けを推奨**いたします。
 - また、軽自動車については**取り付けを強く推奨**いたします。
 - ・オープンカーで屋根を開けて走行する場合、4点式以上のロールバーの**取り付けが必要**となります。
※ 詳細な仕様についてはオートポリス コースまでお問い合わせください。
- ⑥ 消火器
万一の火災に備えて**搭載することを推奨**いたします。
- ⑦ スポイラー等
スポイラー等を取り付ける際は、車幅を超えない大きさにとどめ末端が鋭利でないものとしてください。
走行中の落下・バタつきがないようにしっかりと固定してください。
- ⑧ 運転席の窓
走行中、運転席の窓は**必ず閉めて**ください。開ける場合は5 cm程度までにしてください。
但し、防護ネットが付いている車両は除きます。
- ⑨ けん引フック
 - ・標準装備のけん引フックがエアロパーツなどにより使用できない車両は、**外付けのけん引フックを取り付けて**ください。
 - ・脱着式けん引フックの車両は、牽引フックを**車両の前後に取り付けるか、車内に搭載**してください。



メーカー純正品でも走行可



3. カート【KSP】

- ① 総排気量 1 0 0 cc以上の車両が走行できます。
- ② フットブレーキが装着されている車両が走行できます。
※ ハンドブレーキは任意となります。
- ③ オープンカウル車両は乗り上げ防止のため、フロントバンパーおよびリアバンパーを装着してください。
- ④ 突起物、油脂漏れや過剰なグリスアップは極力控えるようお願い致します。
※ スタッフが危険と判断した車両はコースインを認めない場合があります。



スポーツ走行の安全装備規定

安全にご走行いただくために、安全装備規定で定められた装備をご使用ください。

2輪 ※レンタルは行っておりません	
ヘルメット	<p>2輪用フルフェイスヘルメットをご使用ください。 JIS II 種規格、SNELL規格などの規格を通ったヘルメットをご使用ください。 MFJ公認またはFIM公認のヘルメットを使用することを推奨いたします。 ※ 小型2輪用ヘルメット・モトクロス用ヘルメット・システムヘルメットは使用できません。</p> <p>走行可 走行不可</p> 
スーツ	<p>革製のレーシングスーツのみ使用可能です。 2ピースの場合は「MFJ公認」のレーシングスーツのみ使用可能です。 ※ ツーリング用の装備や、破れ・ほつれ等での服が見えるようなレーシングスーツは使用できません。</p> 
ブーツ	<p>レーシングブーツをご使用ください。 革または革と同等の素材で踵から足首まで完全に保護し、肌が露出しないもの。</p> <p>走行可 走行不可</p> 
グローブ	<p>レーシンググローブをご使用ください。 革または革と同等の素材で指先から手首まで完全に保護されているもの。</p> <p>走行可 走行不可</p> 
推奨装備品	<p>緊急時のヘルメット脱帽システム、胸部プロテクション、脊柱プロテクションの装着がMFJ公認レース時には義務付けとなっております。 その他アンダーウェア類を含め着用義務はありませんが着用することを強く推奨します。</p>  <p>ヘルメットリムーバー 胸部プロテクション 脊柱プロテクション エアバック アンダーウェア</p>

4輪 ※レンタルは行っておりません

JIS II 種規格、SNELL規格などの規格を通ったヘルメットをご使用ください。
万が一の火災などを考慮して4輪用ヘルメットの着用を推奨いたしますが、2輪用ヘルメットでもご走行いただけます。
フルフェイスタイプ・オープンフェイスタイプのヘルメットをご使用ください。
※ 半キャップは使用できません。

ヘルメット

走行可_推奨

走行可

走行不可



フォーミュラ
ツーリングカー

難燃繊維のレーシングスーツをご使用ください。
JAF/FIA公認の耐火炎レーシングスーツの着用を推奨します。
※ メカニックスーツ・綿のツナギなどは使用できません。

登録車

長袖・長ズボンでの走行が可能です。
※ 難燃繊維の衣類の着用を強く推奨いたします。

4 Fクラス/ 4 Tクラス

4 Nクラス

走行可

走行不可

推奨

走行可

スーツ



FIA公認規格マーク



JAF公認規格マーク



レーシングスーツ

ツナギ

JAF公認規格マーク

ツナギ

長袖長ズボン

運転を妨げない範囲のスニーカーをご使用ください。
レーシングシューズを使用することを推奨します。

走行可

走行不可

シューズ



レーシングシューズ/スニーカー

サンダル

厚底

フォーミュラ
ツーリングカー

難燃繊維のレーシンググローブをご使用ください。
メカニックグローブなどは使用できません。

登録車

レーシンググローブと同等に操作性に優れ、指がすべて保護されるものをご使用ください。
※ 難燃繊維のグローブの着用を強く推奨いたします。

4 Fクラス/ 4 Tクラス

4 Nクラス

走行可

走行不可

走行可

グローブ



レーシンググローブ

メカニックグローブ

メカニックグローブ

アンダーウェア・フェイスマスク・FHRシステム
万一のクラッシュや火災発生時の安全対策として、着用することを強く推奨します。

推奨装備品



アンダーウェアとフェイスマスク



FHRシステム

カート	※レンタルは行っていません
ヘルメット	4輪用または2輪用のシールド付きフルフェイスヘルメットをご使用ください。
スーツ	JAF/CIK/FIA公認のレーシングスーツを使用することを推奨しますが、皮製ツナギでの走行も可能です。 ※ 綿ツナギ、エンカン服は使用できません。
シューズ	運転を妨げない範囲のスニーカーをご使用ください。 レーシングシューズを使用することを推奨します。
グローブ	カート用または4輪用レーシンググローブ、2輪用レーシンググローブのご使用ください。
推奨装備	ネックガード/ネックブレイス/リブプロテクターを使用することを推奨します。



ネックガード



ネックブレイス



リブプロテクター

共通

- ① ヘルメットは製造後少なくとも**5年次以内**のものをご使用ください。
 - ② 一度大きな衝撃を受けたヘルメットは安全性が著しく低下するため使用できません。
 - ③ 破損が生じ補修が万全でないレーシングスーツ・シューズ/ブーツ・グローブは安全性が著しく低下するため使用できません。
 - ④ **ヘルメットなどの装備備品にビデオカメラ（ウェアラブルカメラ）やインカムなどを取り付けることは禁止**となります。
- 上記項目が守られておらず、安全性に問題があるとスタッフが判断した場合、走行をお断りさせていただく場合がございます。

カメラの搭載について

- ① 撮影目的はご自身の走行の研究など、個人での使用のみに限定いたします。**インターネットなど不特定多数の方が閲覧できる環境への掲載はご遠慮ください。**
- ② カメラの搭載は**自動車の場合は車内に、オートバイの場合はハンドル幅より内側に**装着してください。
- ③ カメラを装着する際は風圧・振動などで落下しないようにボルト・ナットなどで**強固に固定し**、ワイヤーロックを施し**落下防止**に努めてください。

スポーツ走行の走行手順

① 走行スケジュールを確認

天候状況や路面状況によりコーススケジュールが変更される場合があります。
走行前に走行スケジュールをオートポリスのホームページなどで必ずご確認ください。

② 車両の駐車・ピット使用

トランスポーター、積載車の駐車エリアはピット裏のアスファルト舗装部分です。
ピット裏（パドック側）のコンクリート部分は通路となりますので、駐車はご遠慮ください。
貸切などの条件付きピット以外はご自由にご利用可能です。混雑時には分け合って使用するなどの配慮をお願いします。

③ 走行チケット購入/GPS受取

コントロールタワー 1 階受付にて走行チケットをご購入ください。また、GPS発信機をお受け取りください。
走行料金とライセンスを添えて受付にご提示ください。各走行時間の走行チケットを購入できます。
※ 走行チケットの払い戻しは行いません。

④ 車両と装備のチェック

ご自身の走行時間までに必ずチェックを行ってください。

⑤ コースオープン～分前アナウンス

場内アナウンスで走行開始の 5 分前・3 分前・1 分前にお知らせいたします。

⑥ 車両・装備点検とチケット回収

コースインを開始する前に、係員による車両と装備の点検を受けていただきます。
※ ここで不備がある場合はコースインできません。
この時、走行チケットの回収を行います。走行時間と同じ走行チケットをお持ちください。

⑦ ピットレーン進入

走行チケットの回収を終えると、コントロールタワー横の入口よりピットレーンへの侵入が可能となります。
この時、コースオープン前にコースインすることは出来ません。
ピットエンドシグナルにご注意ください。
※ 原則、ピットから直接ピットレーンに出ることは厳禁です。

⑧ コースオープン

ピットエンドシグナル・メインシグナルがグリーンになりコースオープンとなります。

⑨ チェッカー

コースオープンより約 2 3 分前後に、フラッグタワー付近でチェッカーが表示されます。
チェッカー提示後は、すべての配置ポストから黄旗が静止表示され、デジタルフラッグはチェッカー表示されます。

⑩ クールダウンラップ

クールダウンラップ時は減速し、追越し禁止です。
※ 過度な減速はタイムスケジュールの遅れを招くばかりでなく、追突される危険性があります。
適度な速度で走行してください。

⑪ ピットイン

走行途中のピットイン方法と同じく、減速し安全にピットインしてください。

⑫ 退出

退出場所はコースインと同じく、コントロールタワー横となります。
ピット作業中に走行終了時刻を迎えた場合、ピットレーン出口（4 6 番ピット側）の退出口より退出してください。

スポーツ走行の諸規則

1. スポーツ走行

スポーツ走行とはスキルアップのための練習走行や、ハイスピードで車両の操縦を楽しむ趣味的な走行をお楽しみいただくための走行です。

ご自身のミスによる転倒、クラッシュだけではなく他人のトラブルに巻き込まれ危険な思いをすることも少なくありません。

走行に関わるすべての方のモラルと自覚ある行動が最大の安全対策となります。

会員の皆様のルールとマナーの遵守および責任ある行動をお願い致します。

なお、ルールやマナーを守れない方は走行をご遠慮いただくか、もしくは退会をしていただく場合がございます。

ご利用にあたり

- ① オートポリス サーキットライセンスをお持ちでない方や、会員資格を失効している方はスポーツ走行をご利用できません。
 - ② 皆様が気持ちよくご利用頂ける様、サーキットスタッフの指示・指導には快く従ってください。
 - ③ 万一怪我をしてしまった時に備え、健康保険証をご持参ください。
 - ④ マシントラブルに見舞われた時、クラッシュをしてしまった時に最低限帰りの手段を確保していただく意味でも、お一人ではなくお友達、ご家族、ショップのスタッフなどとお越しいただくことをお勧めします。
- ※ オートポリス周辺に公共交通機関はございません。

走行前の確認

- ① 走行前、走行後の車両の点検・整備（ボルト類・足回り・ブレーキ類・オイル管理など）を確実に行ってください。
 - ② 装備品に傷、破損などがなければ確認を行ってください。
 - ③ コースコンディションの確認を行ってください。
- コースコンディションに注意をしていただく場合、場内放送でアナウンスをしますのでお聞き逃しのないようご注意ください。
- <例> コースの一部がウェットコンディションになっている、コース内でオイル処理を行ったなど。

2. スポーツ走行料金（税込）

クラス区分		定員	走行時間	走行料金	
				平日	土日祝
2輪	: 2B-A/2B-B/2B/2S/2ALL	60台	30分間 ※実走行23分間	3,200円	4,200円
カート	: KSP				
4輪	: 4F/4TN-A/4TN-B/4TN/4ALL	50台		4,600円	5,600円

3. 走行チケット

- ① 走行チケットの購入にはライセンスカードの提示が必要となります。
 - ② コントロールタワー 1階 受付にて走行チケットをご購入ください。
- ※ ご購入いただいた走行チケットはご本人様のみご利用いただけます。
他人への譲渡および売買はできません。
- ※ 1回の走行中にマシンチェンジや運転者の交代を行うことはできません。
- ※ スポーツ走行での同乗走行はできません。
- ※ 同じ走行時間帯の走行チケットはお一人様一枚限りご購入いただけます。

走行チケットの払い戻し

- ① コースイン後のストップ、転倒、クラッシュなどいかなる場合も払い戻しはおこなっておりません。
- ② 会員様都合による走行開始後の払い戻し、または走行時間の変更はおこなっておりません。
ただし、走行開始5分前までに走行時間帯の変更を希望される場合は、走行チケットを交換いたします。
また、走行をキャンセルされる場合は走行チケット購入日より半年間有効な振替券を発行いたします。
- ③ コースオープン後、15分経過後の赤旗中断についてはその後走行中止になっても払い戻しはありません。
- ④ コースオープン後の中断理由がオイル漏れ、事故、その他参加者に起因する場合、一切の払い戻しはありません。
- ⑤ 天候やコースコンディション不良などサーキット判断で赤旗終了となった場合は、走行チケット購入日より半年間有効な振替券を発行いたします。

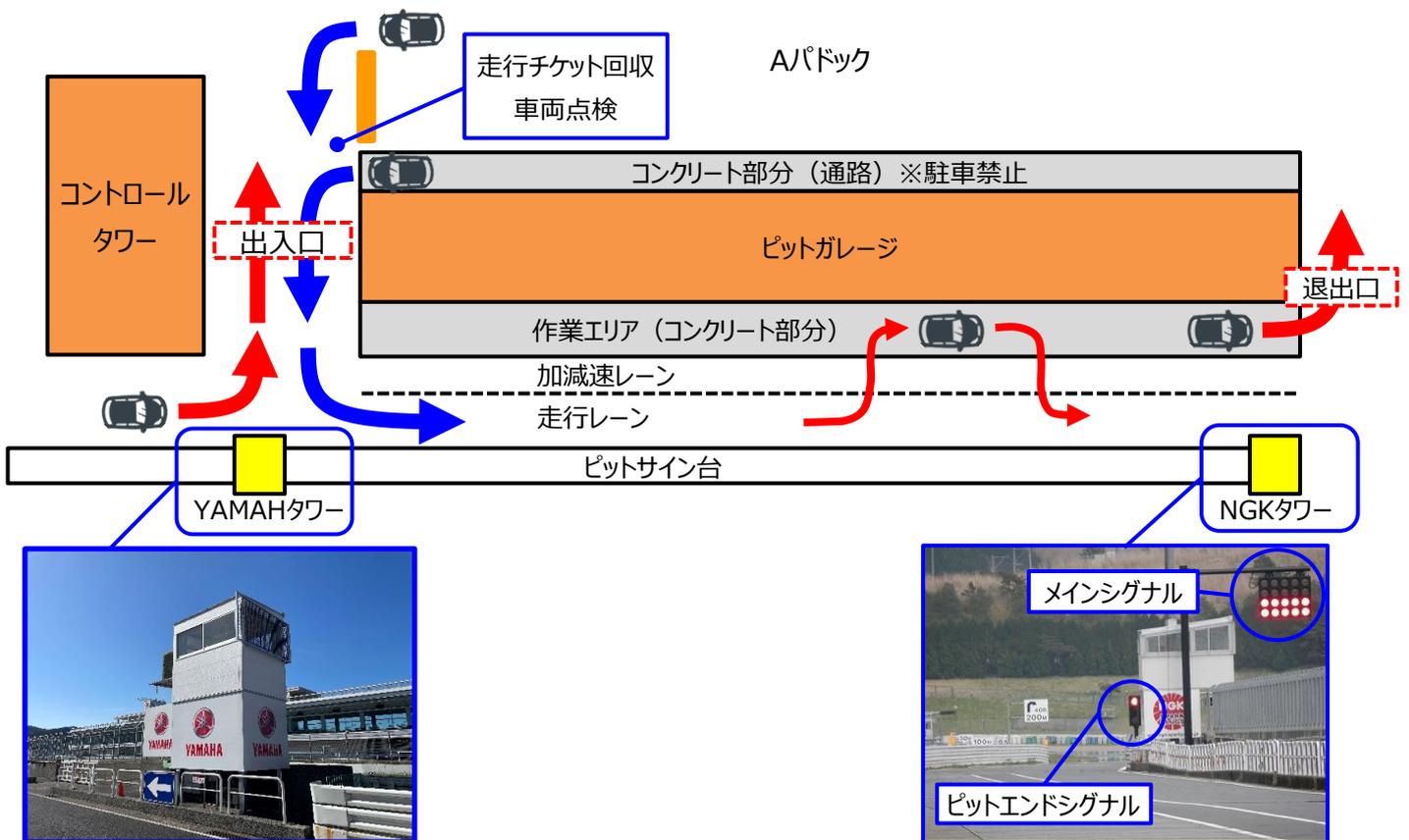
4. コースイン・ピットイン

ピットレーンへの進入

- ① コントロールタワー横の入口からピットレーンに進入してください。
- ② コントロールタワー横でスタッフに走行時間が記載された走行チケットをお渡しください。
スタッフが装備品の確認および車両点検を行ったあとピットレーンに進入してください。
- ③ **ピットから直接ピットレーンに進入することは出来ません。**
- ④ **ピット裏（パドック側）のコンクリート部分は通路となっておりますので、駐車はご遠慮ください。**

ピットレーンからの退出

- ① コントロールタワー横からパドックに退出してください。
- ② ピット作業中に走行終了時刻を迎えた場合は、ピットレーン出口（46番ピット側）の退出口より退出してください。
- ③ **走行時間内にパドックへ退出およびピット内に入った場合、走行終了の意思とみなし同じ走行時間内で再びコースインすることは出来ません。**



◆チェッカー：走行終了

YAMAHAタワー付近で**チェッカーフラッグ**が振られます。

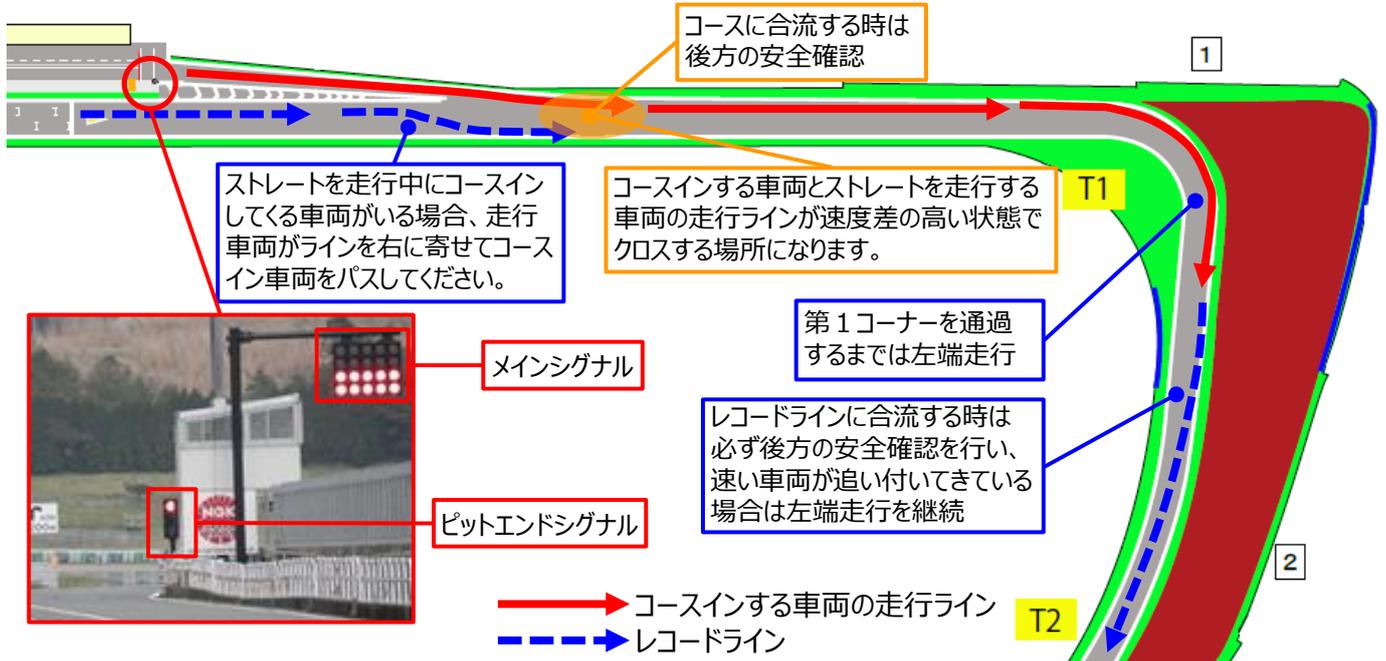
YAMAHAタワー対面の**デジタルフラッグ**でも表示いたしますので、見落としのないようご注意ください。

ピットレーン

- ① ピットレーンの制限速度は60 km/h 以下です。他の走行車両やピットクルーの不意の飛び出しなどに注意して走行してください。
- ② 車両の軽調整やチェックなどは作業エリアで行い、使用された工具類は速やかに片づけてください。
- ③ スポーツ走行中、**ピット作業エリアで給油はできません。**走行前までに給油を済ませておいてください。
- ④ ピットイン・ピットアウトする際は、作業エリアおよび加減速レーンを最短距離で通過してください。
- ⑤ 作業エリアでの作業や、ピットサイン台への横断は、ピットレーンを走行する車両に十分注意してください。
- ⑥ ピットレーンでのスタート練習・ホイールスピン・ウェービング行為、ならびにブレーキテストは禁止となります。
- ⑦ ピットレーンは一方通行となります。逆走や後退は絶対に行わないでください。
- ⑧ 晴天時・雨天時に関わらずピット前（ピットレーン・ピットサイン台）では、安全のため**傘の使用はできません。**

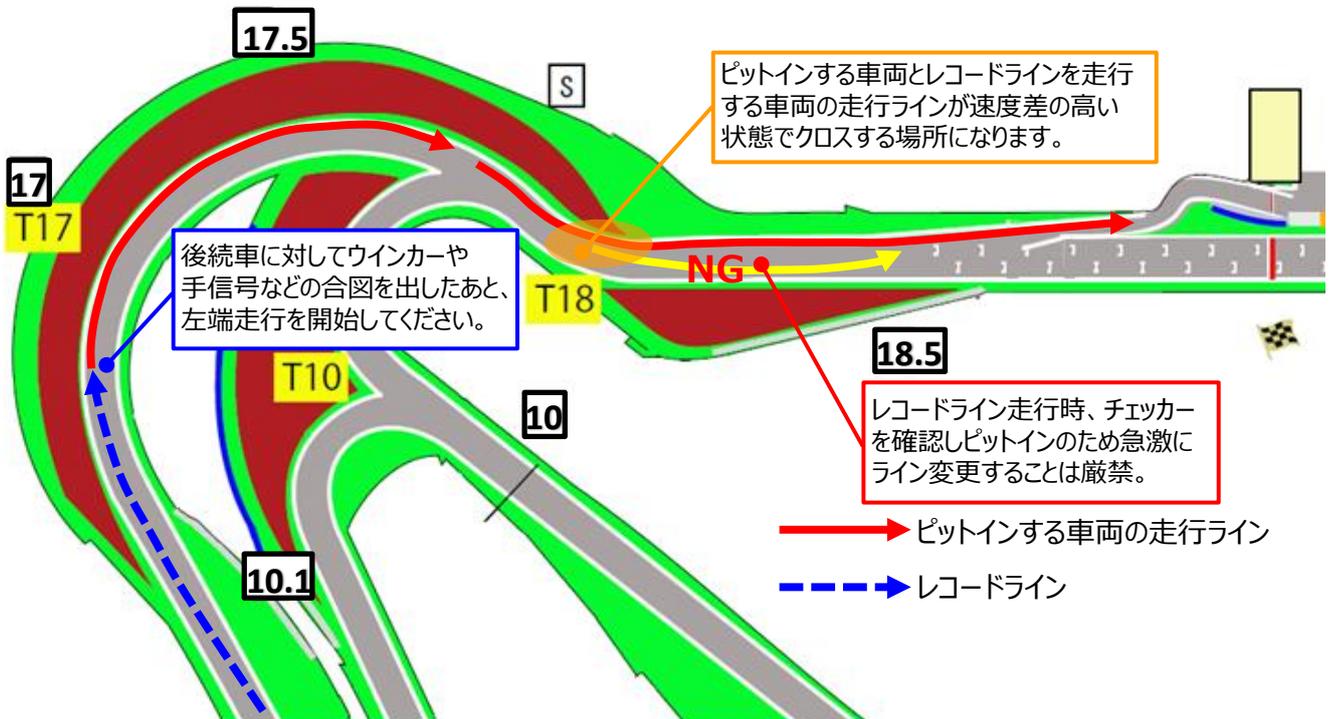
コースイン手順

- ① **ピットエンドシグナルがグリーンに点灯したらコースインしてください。**
※ 何も点灯していない時（無灯）、レッドが点灯している時はコースインできません。
- ② コースインする際は、ストレートを走行してくる車両がないか必ず**後方の安全確認**を行ってコースインしてください。
- ③ コースインする場合はあらかじめ他の走行車に対して合図（ウィンカーや手信号）を出してください。
- ④ コースイン後、1周目は**第1コーナーを通過するまでコース左端を走行**してください。
また、第1コーナーを通過するまで**コースインした車両同士は追越禁止**となります。
- ⑤ コースイン後、1周目からの全開走行はご遠慮ください。



ピットイン手順

- ① ピットインする場合はあらかじめ他の走行車に対して合図（ウィンカーや手信号）を出してください。
合図を出す目安は、最終コーナー付近（17番ポスト先）からです。
- ② **最終コーナー付近（17番ポスト先）からコースの左端を走行し、徐々に速度を落としてください。**

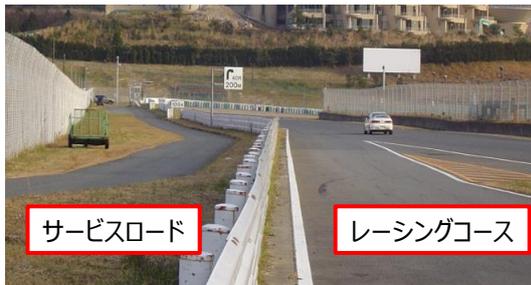


5. トラブルへの対処

ライダーまたはドライバーが車両から降りなくてはならない場合、ご自身がいる場所は危険な場所であることをご認識ください。ご自身がミス（コースアウトなど）をした場所は、他の方もミス（コースアウトなど）をする可能性が高い場所です。

ストップ / クラッシュした場合

- ① コース内を走行中にスピンやオーバーランなどでストップした場合は、速やかに再スタートを試みてください。再スタートができない場合や様々なトラブルによって走行できなくなった場合は、**すぐに車両を降りて避難**してください。
- ② **避難をする時はコースに背を向けずに後方（後続車）を確認しながらガードレールの外側、またはコンクリートウォールの上まで避難**をしてください。
車両を離れる際はエンジンを停止し、鍵は抜かずに**コースとは反対側へ避難**してください。
（スマートキーなど鍵の抜き差しが必要ないタイプの場合は、なるべく車内に置いておいてください。）
4輪車の場合、可能な限り**コースと反対側のドアから避難**をしてください。
（コースと反対側のドアから避難をするのに極端に時間を要する場合はこの限りではありません。）
ガードレールの外側に避難するまでは絶対にヘルメットは脱がないでください。
※ コンクリートウォールの上はレーシングコース内となるためヘルメットは脱がずにそのまま待機してください。
フォーミュラなど着脱式ステアリングの車両は、ステアリングを取り付けギヤはニュートラルの位置にした状態で避難してください
- ③ 避難完了後はレスキュースタッフが現場に到着するまで待機し、現場に到着したら指示に従ってください。
- ④ 車両トラブルなどによりエンジンが停止し惰性で動いている状態の場合、車両が完全に停止する前に**ガードレール付近などコースから離れた場所へ移動**してください。
※ 進行方向左側にサービスロード（レスキュー用通路）を設けております。トラブルなどで車両を停止させる場合、左側に停止するとレスキュー作業がスムーズに行えます。
※ ガードレールの開口部より車両をサービスロードに出すことができます。車両に余力が残っていればサービスロードに退出させてください。
なお、**ご自身でサービスロードに車両を退出させた場合は、走行終了の意思とみなし同じ時間内で再びコースインすることは出来ません。**



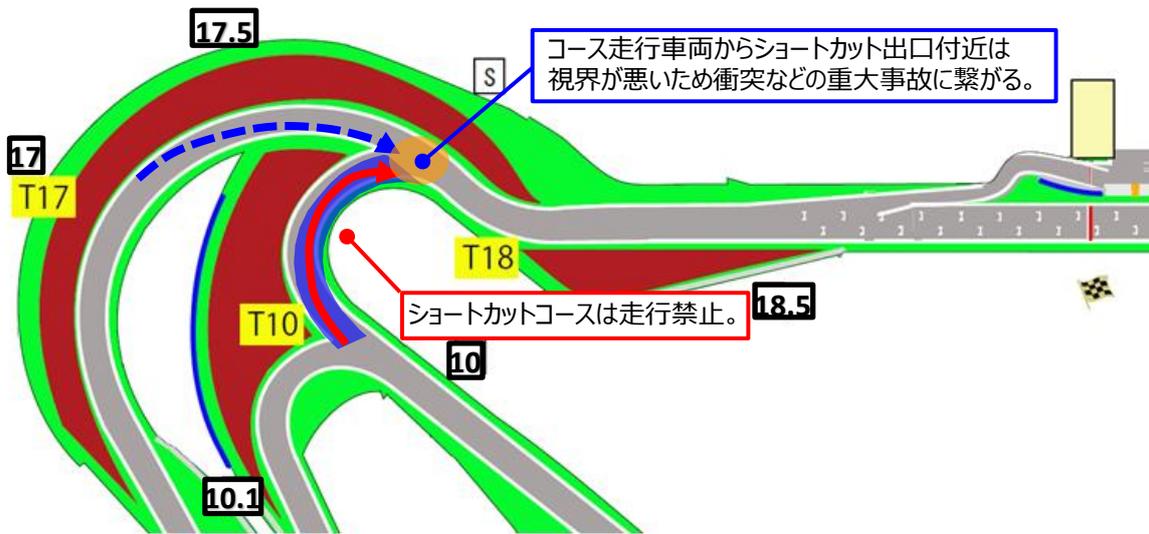
- ⑤ 2輪車の場合、停車した位置が他の走行車に対し危険な場所であれば周囲の安全を確認し、可能な限りガードレール付近などコースから離れた場所へ移動させてください。移動が完了したら出来るだけ車両は倒したままにせずガードレールなどに立てかけてください。
停車位置がコースに近い場合や負傷をしている場合などは**ご自身の避難を最優先**してください。



- グラベルなどで車両が自立する場合は車両を倒してから避難してください。
- ⑥ クラッシュ又は転倒した際に体が動く場合はコースマーシャルやレスキューに向かってジェスチャーで合図をするなど、何らかの動作を起こしてください。動作がない場合やすぐに車両から降りない場合は退避不可能と見做しすぐに救助に向かいます。
 - ⑦ 再スタートが可能な場合は、**後方の安全を十分に確認しコースに復帰**してください。
グラベル（砂利エリア）を通過した場合はすぐにコースに復帰せず、グリーン（セーフティゾーン）などを走行し、砂利などをおとしてからコースに復帰してください。
 - ⑧ 車両トラブルなどでレーシングスピードを維持できず低速走行をする場合は、ハザードランプや手信号などで合図を出してから、コース左側を走行してください。
※ コース左側にライン変更する際は安全確認を行い、**急激なライン変更を行わない**ようにしてください。

6. 注意事項

- ① 故意のドリフト走行や、他の走行車両に対し危険と思われる走行は禁止となります。
- ② ショートカットコースを使用し、**10番ポスト先から最終コーナーへ出る行為は危険なため禁止**となります。
※ 車両トラブルなどのためショートカットコースに停車することは可能となります。
但し、再スタートする際は進入した所からコースに復帰してください。



- ③ 黄旗が出ている区間でのスピン、コースアウト、追越しは二次事故防止のため禁止となります。
黄旗区間では必ず減速し、追越し禁止を厳守してください。
- ④ 友人・知人など他の走行者が転倒、クラッシュを起こした場合でも二次事故防止のため停車して救援に向かうなどの行為はご遠慮ください。
- ⑤ 火災が発生した場合、消火可能な火災の規模でしたら付近の消火器や車載の消火器で消火を行ってください。
消火器はコース両脇にちどり配列にて約100m間隔で設置されている  マークの下に配置されています。
※ 消火活動に危険が伴う場合はご自身の避難を最優先してください。
※ コースを横断して消火器を取りに行く行為は禁止となります。
- ⑥ 走行中にご自身の車両からガソリンやオイルなどの液体漏れに気付いた場合は、**ピットまで戻らずにコース両脇へ早急に車両を退出**させてください。
※ 走行しているラインから近い方のグリーンへ退出してください。
急激なライン変更などコースを横断することは禁止となります。

7. その他

- ① コース内での接触（走行車両同士）、クラッシュはともに自己責任となります。
感情的に相手を非難したり、損害賠償を請求したりすることは出来ません。
- ② **コース内は一方通行**となります。逆走や後退は絶対に行わないでください。
ただし、危険回避のため短距離の逆走・後退・Uターンはこの限りではありません。
- ③ コース走行中は理由がない限り**急激なライン変更は行わない**でください。
- ④ アルコールや薬物などを使用しての走行は禁止となります。
- ⑤ 基本的にコース内ではスピードの速い車両（ライダー/ドライバー）が遅い車両（ライダー/ドライバー）に配慮するように心がけてください。
- ⑥ スポーツ走行中、セーフティーゾーンを含むコース内での車両修理作業は禁止となります。
- ⑦ ドライバー・ライダー、およびその同伴者は走行に関して起こった事故やその処理によって生じた損害について、オートポリスの従業員またはその雇用者は一切の賠償責任を免除されていることをあらかじめご了承ください。
- ⑧ ドライバー・ライダーは自己のピットクルーや家族・知人などの同伴者の行動に責任を持ち危険な行動や場所に立ち入らないよう指導してください。
- ⑨ 車両トラブルによる留置きについての動向責任はオートポリス側には一切の責任は無いことをあらかじめご了承ください、必ずオートポリスまで届け出て許可を得てください。
- ⑩ 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は慎んでください。
- ⑪ 慣らし走行をされる方やサーキット走行経験の浅い方に、2輪はビブス、4輪は初心者マークをコントロールタワー1階受付で貸し出しております。

2輪用ビブス



フラッグ規定 / デジタルフラッグ (ライトパネル) / ポスト配置

スポーツ走行はポストからの信号旗 (フラッグ) 、デジタルフラッグ (ライトパネル) 、メインシグナルによって合図が表示されます。合図の無視・見落とし・認識不足は重大な事故につながりますので、**各合図の意味を十分に理解**し見落としのないよう注意してください。

フラッグやデジタルフラッグなどの種類や意味、表示方法などについては基本的に日本自動車連盟 (JAF) および日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ) 規定に準拠していますが、スポーツ走行ではJAF・MFJとフラッグの意味が多少異なることをあらかじめご了承ください。

デジタルフラッグ (ライトパネル)

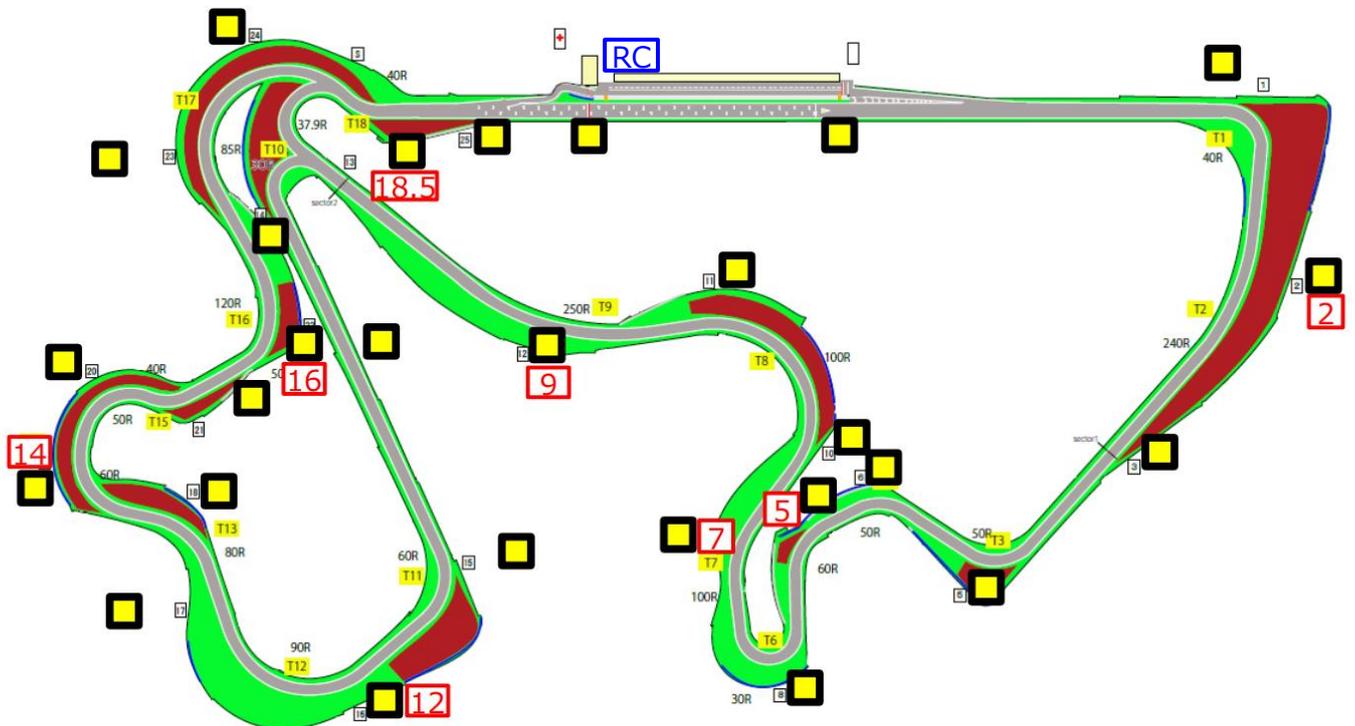
- ① デジタルフラッグは主要コーナーに設置され、信号旗 (フラッグ) と同じ意味で表示されます。
- ② **監視スタッフの配置がない無人ポストにおいても表示され、コース状況をお知らせいたします。**
信号旗と合わせて見落としがないよう注意してください。

【デジタルフラッグ】



ポスト/レスキュー配置

■ → デジタルフラッグ □ → 監視スタッフ RC → レスキュー待機場所



【ポスト基本配置】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 2 番ポスト (1 コーナー立上り) | 1 2 番ポスト (1 2 コーナー入口) |
| 5 番ポスト (5 コーナー) | 1 4 番ポスト (上りセクション中間地点) |
| 7 番ポスト (第 1 ヘアピン立上り) | 1 6 番ポスト (さよりんブリッジ手前) |
| 9 番ポスト (1 0 0 Rコーナー出口) | 1 8.5 番ポスト (最終コーナー立上り) |

【レスキュー基本配置】

コントロールタワー

※ 上記の主要 8 ポストにスタッフが配置につきますが、場合によっては**配置ポストの増減**を行います。

※ 走行中は上記 8 ポストとデジタルフラッグ (ライトパネル) を必ず確認してください。

※ 走行開始から 3 分間はすべてのライトパネルからグリーンが点灯表示されます。

GPS発信機搭載義務化について

スポーツ走行の安全性向上を目的として、スポーツ走行に参加される車両へのGPS発信機（RaceLink）の搭載が義務化されています。

スポーツ走行をご利用される皆様にはお手数をおかけいたしますが、スポーツ走行運営の更なる安全性向上のためご理解賜りますようお願い申し上げます。

GPS発信機 受取／返却方法

コントロールタ1階受付で配布／返却を行っております。

走行される前にGPS発信機を必ず受け取っていただくようお願いいたします。

なお、GPS発信機を受け取る際はライセンスカードのご提示が必須となりますので、お忘れのないようお願いいたします。

走行終了後はコントロールタワー1階受付にご返却ください。

GPS発信機の取付方法

- ① 粘着テープやタイラップ（結束バンド）などでしっかり固定してください。
- ② GPS衛星を利用し位置情報を取得していますので、電波感度が良好な場所に設置してください。
※ 金属やカーボン素材で覆われた場所や、電波を発信する機器の近くに設置すると電波感度の低下がみられます。

ツーリングカー／登録車

ダッシュボード上面やステアリングコラムカバー又はリアサイドガラス等に粘着テープなどでしっかり固定してください。



フォーミュラカー

ロール構造体の外側またはメーターまわりに粘着テープなどでしっかり固定してください。

※ コクピット内部は金属（特にアルミ板）に覆われているため、電波感度が低下する傾向があります。



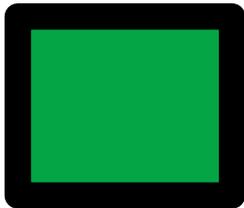
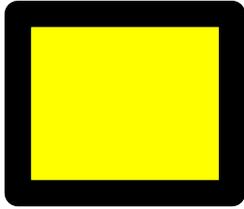
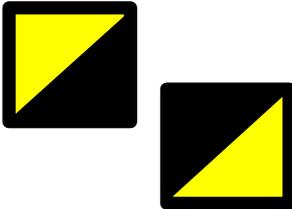
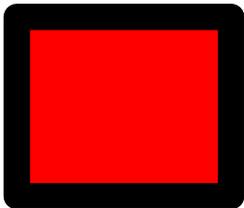
2輪

メーター回り、燃料タンク上部またはリアシート座面より後部の上部や側面など。

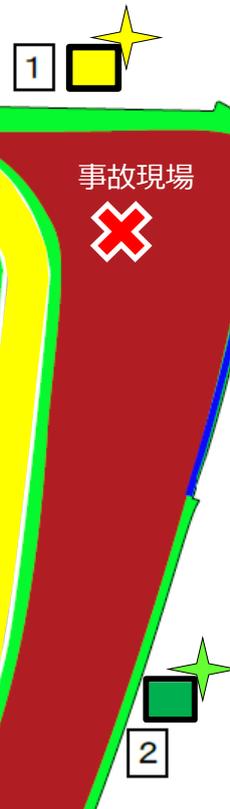
※ カウルが覆いかぶさっている場所では電波感度が低下する傾向があります。



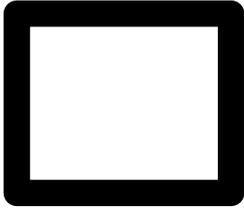
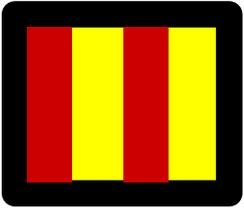
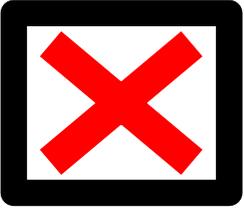
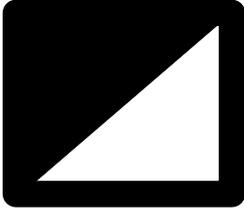
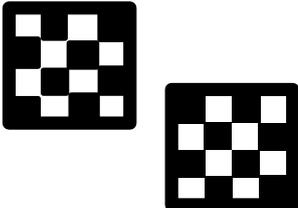
デジタルフラッグ (ライトパネル)

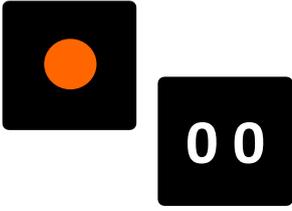
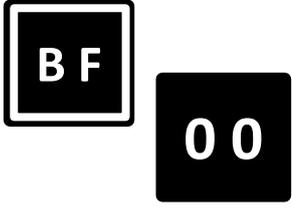
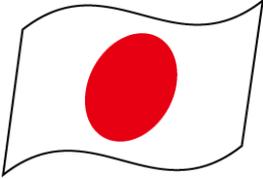
表示	区分	表示	意味	とるべき行動とケース
緑旗 (グリーンフラッグ)				
	4輪	点滅	走行可能	走行開始後、3分間経過まで点滅表示。 前ポストのフラッグ解除
	2輪			
黄旗 (イエローフラッグ)				
	4輪	点滅	前方に危険箇所あり	提示ポストの先のコース脇、あるいはコースの一部に危険な箇所がある。 【2輪】コース脇でレスキュースタッフが作業中である。 ⇒減速・追越禁止
	2輪			
	4輪	左右交互点灯	より危険な状況	提示ポストの先のコースを全面的、部分的に塞がれているような危険な箇所がある。 【4輪】コースまたはコース脇でレスキュースタッフが作業中である。 【2輪】コース上でレスキュースタッフが作業中である。 ⇒減速・追越禁止・停止準備
	2輪			
赤旗 (レッドフラッグ)				
	4輪	点滅	走行一時中断	赤旗が提示された周回でピットインする。 危険箇所でのトラブル、負傷者が発生した時に提示され、走行は一時中断される。 ⇒減速、追越禁止、停止準備
	2輪			

【黄旗 (イエローフラッグ) 区間の解除】



- 1コーナー付近で危険箇所が発生した場合、その手前の1番ポストのライトパネルがイエローで点滅表示されます。
※無人のポストからはデジタルフラッグのみ表示いたします。
- 1番ポストから2番ポストまで ( 区間) が黄旗区間となり減速・追越禁止となります。
- 危険箇所を過ぎ、その先のグリーンのデジタル表示が点滅しているポストから通常走行に復帰していただけます。

表示	区分	表示	意味	とるべき行動とケース
白旗 (ホワイトフラッグ)				
	4輪	点滅	前方低速車両あり	前方に低速走行車両がある。
	2輪		救急車、作業車介入	表示ポスト横から追い越し禁止。 緊急車両は注意して追い越し可能。 追い越し後は旗解除。
オイル旗				
	4輪	点灯	コース上が滑りやすい	コース上にオイル、水溜まり、飛散物などがあり路面が滑りやすい状態である。
	2輪	点滅		雨以外の理由で路面が滑りやすい状態である。 オイルや飛散物がある可能性も含まれる。
レッドクロス				
	4輪	なし	なし	4輪ではレッドクロスの提示はありません。
	2輪	点灯	降雨	提示された場所付近で雨が降り始めたことを示す。
青旗 (ブルーフラッグ)				
	4輪	点滅	速度の速い後続車両が接近し、追越そうとしている	急激な進路変更はせず、そのままのペースで走行し後続車両に進路を譲る。
	2輪	点滅		
白黒斜分割旗				
	4輪	なし	なし	4輪では白黒斜分割旗の提示はありません。
	2輪	点灯	前方低速車両あり	前方に低速車両があることを示す。
		点滅	前方低速車両あり	前方に低速走行車両があり、走行ラインが重なる可能性があることを示す。
チェッカー ※先頭車両からコース全域のデジタルフラッグが点滅します。				
	4輪	交互に点滅	走行終了	走行終了となったことを示す。
	2輪			

表示	区分	表示	意味	とるべき行動とケース
オレンジディスク + ゼッケン				
	4輪	交互に 点滅	当該車両に 機械的な 欠陥がある	旗を確認した周回でピットインする。 液体漏れなどがある場合は、グリーン奥の安全な 場所に停止する。 コースから出来るだけ離れた場所（グリーン上）に 停止する。
	2輪			
黒旗 + ゼッケン				
	4輪	交互に 点滅	当該車両が ルール、マナー 違反をしている	旗を確認した周回でピットインする。 1番ピット作業エリアで停止し係員の指示を受ける。
	2輪			
信号旗（フラッグ）				
日の丸				
	4輪	振動	スタート	走行開始示す。 ※コースインシグナルの代わりに使用することがある。
	2輪			

施設/設備の破損・消失・消耗について

サーキット内の各種機材・施設を破損または消失・消耗した場合、費用を2輪:55,000円、4輪:110,000円を上限としてご負担いただきます。(2024年6月現在 税込)

※ 上限負担額の適用は年2回までとさせていただきます。3回目以降は実費を頂く事となります。

施設の破損とその標準価格

※下記は参考価格であり、仕入れ値などの影響により変動する場合があります。

ガードレール

◆ ガードレール交換	1枚	45,000円(税込)～
◆ 支柱引き起し	1本	5,500円(税込)～
◆ 支柱交換	1本	45,000円(税込)～
◆ ガードレール開口部交換	1枚	45,000円(税込)～

破損例



セーフティーガード

◆ セーフティーガード	1本	132,000円(税込)～
◆ カバーのみ	1本	55,600円(税込)～
◆ ウレタンのみ	1本	55,600円(税込)～

破損例



タイヤバリア

- ◆ タイヤバリア 1カ所 110,000円(税込)～
- ◆ ベルト 1枚(10m) 110,000円(税込)～ (ベルトの長さによる)
- ◆ コンベアベルト簡易塗装 1m 2,000円(税込)～

破損例



路面のオイル・クーラントなどの液体除去処理

- ◆ 処理の長さ 10m 5,500円(税込)～ (オイルだまりなど別途ご相談します)

路面の削れ

- ◆ 幅3cm、深さ1cm～2cm、長さ30cm以内 33,000円(税込)～

破損例



消火器

- ◆ 粉消火器 1本 11,000円(税込)
- ◆ 泡消火器 1本 22,000円(税込)
- ◆ 二酸化炭素消火器 1本 44,000円(税込)



粉消火器



泡消火器

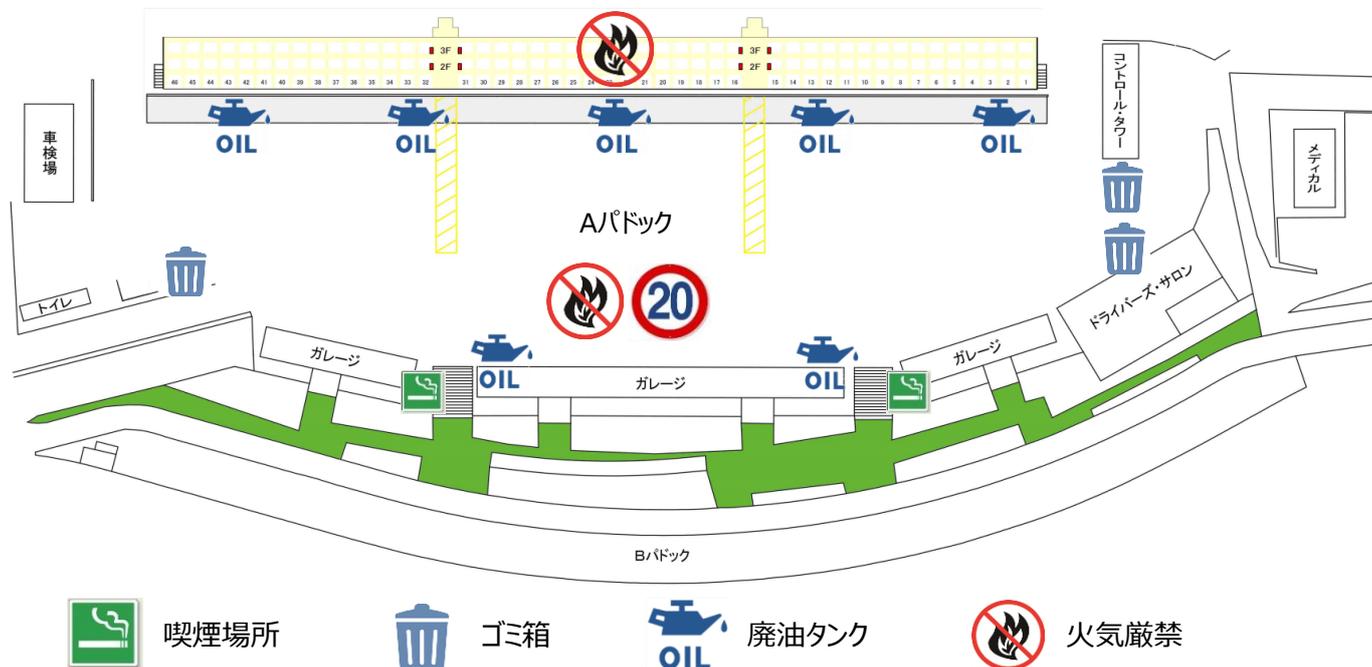


二酸化炭素消火器

ピット / Aパドックの使用について

- ① ピット内およびAパドックはすべて**火気厳禁**となっております。
火花が発生する作業や暖房器具の使用、喫煙は不可となります。
喫煙は喫煙看板、指定灰皿が設置されている指定の喫煙エリアでのみ可能となります。
- ② **ゴミは分別して袋などに入れ**、所定のゴミ箱へ入れてください。
- ③ 使用済みのタイヤ、およびパーツ類などの廃棄物は必ずお持ち帰りください。
- ④ 廃油は指定された廃油タンクに入れてください。
※ オイルエレメントなどの廃棄物、ガソリンなど火災の原因となる揮発油は廃油タンクに入れないでください。
- ⑤ オイルなどの油脂類が流出した時は排水溝に流したりせず、速やかに係員までご連絡ください。
- ⑥ オートポリス場内では事故防止のため徐行してください。
※ 外周路の制限速度は30 km/h、Aパドックの制限速度は20 km/hとなります。
- ⑦ 指定のない限り空いているピットをご利用いただけますが、数に限りがありますので譲り合ってください。
※ 走行当日に使用可能なピットは入場ゲートで案内しておりますので必ずご確認ください。
※ 走行前日の午前中まで1ピットにつき2,000円(税込)で予約が可能となります。
オートポリス ホームページのコーススケジュールにピットの予約状況が掲載されています。
- ⑧ 他の方が気持ちよく使用できるように、走行終了後は必ずピット内の清掃をしてお帰りください。
- ⑨ オートポリスの場内を移動する時は必ず4輪はシートベルトを締め、2輪はヘルメットを被ってください。
- ⑩ パドックや駐車場、通路を使用した**車両テストやブレーキテストなどは禁止**となります。
- ⑪ オートポリスへの入場は決められた時間より可能となります。
無断進入や入場待ちのための一般公道での路上駐車などは絶対に行わないでください。
※ 入場時間（ゲートオープン時間）はオートポリス、ホームページのコーススケジュールからご確認ください。
- ⑫ 入場の際は入場ゲートで一旦停止し、ゲート係員に入場証（ライセンスカードなど）をはっきりと提示して許可を受けてから入場してください。
- ⑬ Aパドックおよびピットへのペットの持ち込みは禁止となります。
※ 盲導犬・聴導犬・介助犬など、障害のある方を助ける仕事をする補助犬を除く
- ⑭ 走行終了後は退場時間までにご退出ください。
- ⑮ **仮ナンバーを付けた自走車両の場内へのご入場はお断りしております。**

【パドック図】



オートポリス 場内MAP



オートポリスへお越しいただく前に

1. 走行予定日のスケジュールをご確認ください。

諸般の都合上、スケジュールの変更を行う場合がございます。

オートポリスのホームページに最新のスケジュールを告知しておりますので、事前に確認をしていただいたうえでお越しください。なお、インターネット環境をお持ちでない方は、電話での確認などお気軽にお問合せください。

2. 反社会的勢力について

関係官庁の指導により、お客様が暴力団、暴力団員、暴力団準構成員その他これらに準ずる反社会的勢力およびこれらと密接な関係を有する場合、オートポリスへのご入場を固くお断りいたします。

ご入場後に判明した場合は速やかに退場していただきます。お断り、退場に伴う一切の補償・返金は致しませんので、あらかじめご了承ください。

【お問合せ】

株式会社オートポリス

大分県日田市上津江町上野田 1 1 1 2 - 8

TEL: 0 9 7 3 - 5 5 - 1 1 1 1 (受付時間: 9 時 0 0 分から 1 7 時 3 0 分)

FAX: 0 9 7 3 - 5 5 - 1 1 1 3

ホームページ

ツイッター

フェイスブック

インスタグラム



【MEMO】

【MEMO】

【改訂履歴】

令和 6年10月 一部改訂
令和 6年 4月 一部改訂
令和 4年10月 一部改訂
令和 4年 1月 一部改訂
令和 3年11月 一部改訂
令和 3年 4月 一部改訂
令和 2年 7月 一部改訂
令和 2年 4月 一部改訂
令和 1年12月 一部改訂
平成30年 6月 一部改訂
平成29年 4月 一部改訂

平成28年 3月 一部改訂
平成27年 7月 一部改訂
平成25年 1月 一部改訂
平成24年 4月 一部改訂
平成22年 4月 一部改訂
平成20年 7月 一部改訂